



病院NEWS

no.
344
2013
02/01



The Hospital News.Faculty of Medicine Kagawa University



ささえる、つながる、リードする。
香川大学医学部附属病院
KAGAWA UNIVERSITY HOSPITAL

香川県木田郡三木町池戸1750-1 発行人／病院長 千田 彰一

平成24年度 医療安全・質向上のための大学間相互チェックの実施報告

医療安全管理部

目的 国立大学附属病院の医療の安全と質の向上をはかり、安全管理体制確立の一助となることを目的に医療安全・質向上のための相互チェックを実施する。

重点項目 手術の安全を確保するための手順

◆11月15日(木)福井大学医学部附属病院 医療安全管理部のチェックを受けました

井俣医療安全管理部長・五十嵐GRM含む7名の調査員が来られ、手術の安全を確保するための手順の実施状況をチェックシートに基づき調査されました。病棟巡視では、持参薬の管理・アレルギー情報などの情報共有について調査されました。手術部、東病棟3階および関係診療科の皆さまには、ご協力頂き感謝しております。講評では、指摘事項もなく、手術の安全確認行為が徹底されているとお褒めの言葉を頂きました。



▲呼吸器外科の手術をチェック

▲手術室内でヒアリング



▲東病棟3階

▲病棟薬剤師からの説明

◆11月19日(月)島根大学医学部附属病院を訪問



▲手術室は10ルームあり

▲手術室内のMEの準備室

筧医療安全管理部長・舩形GRM・豊嶋GRM・臼杵手術部長・松本(佐)看護師長・鬼村サービス課長が訪問し、手術の安全を確保するための手順の実施状況をチェックシートに基づき調査しました。

*ゆとりある人員配置のためか手術室の医療スタッフのチームワークの良さと、病院再開発により環境が整備され業務導線に無駄がないと感じました。

感染防止対策のための地域連携

感染制御部 感染対策室

今年度より、感染防止対策のための地域連携が始まりました。この取り組みは、各医療機関における感染防止対策の充実、推進を図ることを目的としています。これまで医療機関ごとに行われていた感染対策について、医療機関同士で感染防止対策を評価しあうことにより、客観的に現状の感染対策が評価され、より有効な感染対策へと強化されることが期待されています。また、医療機関同士の連携による地域における感染対策の推進が図られていくことも期待されています。

当院では高松赤十字病院と感染防止対策のための地域連携を実施いたしました。平成24年12月3日に当院の感染対策チームが高松赤十字病院を訪問させていただきました。高松赤十字病院では、経済性を重視した感染対策に取り組まれており、概ね適切に実施されていました。

平成24年12月17日には、高松赤十字病院の感染対策チームが当院に来られ、感染制御委員会の資料や院内感染予防マニュアル等の書類調査、感染対策チームの活動状況、現場での感染対策の実施状況を確認されました。全般的に良好な評価が得られましたが、適切なタイミングでの擦式手指消毒剤の使用と手袋の着脱、目的を明確にしたサージカルマスクの着用などの指摘事項がありました。今後は、指摘事項の改善に向けて取り組みを行っていきますので、ご協力をよろしくお願いします。



麻酔・ペインクリニック科 田家 諭

2012年11月26日～30日に、東日本大震災被災地医療支援活動として福島県のいわき市立総合磐城共立病院に行ってきました。本活動は全国医学部長病院長会議被災地医療支援委員会からの依頼を受けて、被災地の要請のある病院、診療科において全国の大学病院の医師が交替で医療支援を行うものです。いわき市立総合磐城共立病院は福島県浜通りの中核病院ですが、東日本大震災のあと常勤麻酔科医が減少し、常勤医のみでは手術麻酔を中心とした診療業務をカバーできない状態になっています。期間中は、手術室で外科、産婦人科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科などの手術の麻酔管理を担当しました。また、麻酔科の先生から震災時の手術室の状況と対応についての話をお聞きし、平日頃からの危機管理意識と災害訓練が重要であることを教えて頂きました。今回の支援活動を通して、被災地では地震、津波、原発事故の影響で現在も多くの方が避難生活を余儀なくされていることや、医療従事者が不足していることをあらためて知り、避難されている方が一日でも早く安定した生活にもどられる事を心からお祈りするとともに、今後更に医療支援活動に協力をしていく事が必要であると感じました。



「都道府県がん診療連携拠点病院」としての活動と取り組み

腫瘍センター長 合田 文則

現在、がんは全ての死亡原因の30%を占め、死亡原因のトップであり、一生の間にかんに罹る危険性は男性の2人に1人、女性の3人に1人になると推計され、早急な対応が迫られています。平成16年に開始された第三次対がん十カ年総合戦略で「がん医療の均てん化」を基本政策とし、全国どこでもがんの標準的な専門医療を受けられるよう、医療技術等の格差の是正を図り、これによってがんの治療成績を20%アップするという目標を立て、平成19年4月に「がん対策基本法」が制定されました。香川大学医学部附属病院は、がん治療において関連専門診療科による密接な連携のもと透明性のある組織横断的な集学的がん医療を行うとともに、地域の医療機関と連携して、がん診療の標準化、質の向上に寄与することを目的として平成19年4月に腫瘍センターを設立し、平成21年2月には「都道府県がん診療連携拠点病院」に指定されました。これをうけ、香川県におけるがん診療連携の強化及びがん医療の均てん化を推進するために、本院を中心に、県内の地域がん診療連携拠点病院（香川県立中央病院、高松赤十字病院、香川労災病院、三豊総合病院）、香川県及び香川県医師会をメンバーとする「香川県がん診療連携協議会」を設置し、①香川県におけるがん診療の連携協力体制等がん医療に関する情報交換。②県内の院内がん登録のデータの分析、評価等。③香川県レベルの研修に関する計画、診療支援を行う医師の派遣調整。④地域連携クリティカルパスの作成、整備等を行っています。

本院のがん診療連携拠点病院としての役割は、がんの集学的治療（手術・抗癌剤・放射線治療など）の実施、がん治療に係る医療機関等との連携及びその推進、がん予防・診療についての研修及び啓発活動、がん患者登録、がん治療成績の公表、緩和ケアの推進であり、その実践のため、腫瘍センターは、カンサーボード（腫瘍会議）と以下の6つの部門、がん化学療法プロトコル審査部門、外来化学療法部門、がん診療地域連携部門、がん登録部門、緩和ケア部、がん診療相談部門から成り立っています。

カンサーボード（腫瘍会議）

外科医、内科医、放射線科医、病理医など各専門医が一同に集まり、1つの症例に対する治療法を、横断的に透明性をもって、包括的に議論する場です。がん治療の基本的な体系としては、手術療法のほか、化学療法、放射線治療、骨髄移植・ミニ移植がありますが、それぞれの領域の進歩は非常に早く、当該診療科だけの知識や経験だけでは必ずしも最良の医療を提供することができません。そのため、それぞれが専門

的意見を出し合って治療法を集約し、患者それぞれの症状・状態に応じた最適な治療法を決定しています。本院には11のがんの分野のキャンサーボードが定期的に開催されています。院外の医療機関からのご参加が可能です。

①がん化学療法プロトコル審査部門

エビデンスレベルの高い、より安全な抗がん剤治療を提供するために、院内すべてのがん化学療法においては、抗がん剤、輸液、支持療法薬（制吐薬など）を含めた時系列的な治療計画であるレジメンの審査を行っています。承認されたレジメンは、「レジメンオーダーシステム」により運営し、抗がん剤の単独投与や過剰投与等がおこらない体制を整備しています。

②外来化学療法部門

「外来化学療法室」には、乳がん看護認定看護師、がん化学療法認定看護師、皮膚排泄ケア認定看護師を配置し、専任スタッフ管理下で外来化学療法を平日週5日間行っています。また急変時には患者さんが入院できる体制を確保しています。近年利用患者数は著しく増加し、平成23年には、のべ3,406名になっています。

③がん診療地域連携部門

がん診療に関する情報提供や地域のがん診療従事者に対する研修会開催、地域医療機関への診療支援等、病病連携、病診連携を行っています。「我が国に多いがん」の香川県下統一の地域連携クリティカルパスを香川県がん診療連携協議会と連携して整備し連携体制を強化しています。また、がん患者が在宅療養を希望する場合には、在宅支援するスタッフを交えた退院調整カンファレンスを開催しています。

④がん登録部門

国立がん研究センターで研修した診療情報管理士を2名配置し、国立がん研究センターの標準様式により院内全て（年間約1300件）の症例をがん登録しています。また、香川県からの委託事業である地域がん登録の精度も向上し、本年度には目標データ水準を満たしました。香川県の罹患数に占める拠点病院登録割合は平成21年で88%を越えています。

⑤緩和ケア部門

苦痛で不快な疼痛等の症状を持つがん患者さんの症状緩和を図ることを目的に、症状緩和を図る医師や精神科医、がん疼痛看護認定看護師、臨床心理士、社会福祉士、理学療法士、管理栄養士及び歯科医師から構成される「緩和ケアチーム（K-ist）」を設置し、週平均30症例のカンファレンス・回診を行い、患者さんの症状緩和に努めています。毎週月曜日の午後には、緩和ケア外来を開設し外来通院のがん患者さんの診療を行っています。また、教育・啓蒙目的の勉強会、セミナー及び研修会（を年10回開催し、県下の緩和ケアチームの情報交換のための「緩和ケアチーム談話会」も毎年開催しています。

⑥がん診療相談部門

「がん診療相談支援室」は、がん診療相談窓口を平成23年4月に本院玄関横にリニューアルしました。がん専門相談研修を受けた看護師、社会福祉士、臨床心理士が、がんに関する様々な「よろず相談」に月曜～金曜 8:30～17:15で対応しています。相談は、無料で本院以外の患者さん家族からの相談や、医療施設、医療関係者からの相談も受けています。お電話での対応も可能です。お気軽に下記までご相談下さい。

また、同じ病気を持つ患者さん同士、その御家族の方達との語らいの場「がん患者サロン」を2ヶ月毎（奇数月の第3金曜日 14:00～16:00）に開催しています。患者さんの思いを患者さんが聴くサロンは、患者さん自身が自ら生きる力に出会い、生きる力を得る場を提供するものです。

詳細につきましては

●腫瘍センター

<http://www.med.kagawa-u.ac.jp/~ccc/index.html>

●香川県がん診療連携協議会

<http://www.med.kagawa-u.ac.jp/~gan/kyougi/index.html>

●がん診療相談窓口 直通電話（がんサロン問合せ）

087-891-2473

冬の院内イベントを開催しました

患者サービス課

平成24年12月12日(水)18時30分から第22回クリスマス音楽会を開催しました。会場は外来診療棟1階玄関ホールに設け、ステージでは一足早いクリスマスの賑わいとなりました。司会は初めての試みとして病棟看護士の男性2人が努め、千田病院長の開会の挨拶に続き、3組の出演者とサンタ、トナカイに扮した4人の放射線部職員が、入院患者さん達の気分転換を図ってくれました。

1人組目は放射線部勤務の職員がアカペラでソプラノ独唱、2人組目は職員の家族と友人の2人によるハーモニカ・ギター演奏を披露しました。トリを務めた看護部フレッシュナース合唱隊27人は、サークル名どおりフレッシュな歌声とキャンドルサービスで会場に感動を届けました。阪井看護部長の挨拶で締めくくった60分間はあっという間のひとときでした。

また、21回目となった職員作品展を12月10日(月)から14日(金)の5日間行いました。見学者から心が温まった、やさしい気持ちになった、すてきな作品といった出品者達の励みになるような感想をたくさんいただきました。



外来駐車場等の整備について

管理課

現在、外来駐車場が混雑しており関係者の方々には大変ご迷惑おかけしております。平成25年6月に大学構内にカーゲートを設置し本院に関係のない人々の入構の制限を致します。これにより、外来駐車場の混雑が緩和され利用しやすくなると思われます。

なお、カーゲートの設置後は外来患者の方は8時間まで無料となり、お見舞い客の方は30分無料以降、30分毎100円を利用料と徴収する予定となっております。

また、同時期に職員用立体駐車場も建設し大学構内での路上駐車等の規制をかけて参ります。

外来カーゲート工事は、平成25年3月頃より開始し皆様にご不便ご迷惑をおかけ致しますが、ご理解ご協力をよろしくお願い致します。

公益財団法人がんの子どもを守る会香川支部からの小児病棟へのDVDの寄贈について

総務課

平成24年12月21日(金)、(公財)がんの子どもを守る会香川支部から、小児病棟に入院されている子どもたちに、シブリ作品のDVDのプレゼントがありました。

今後、病棟において大切かつ有効に使用させていただきます。ありがとうございました。



PET検査3月から再開

放射線部

昨年5月から病院再開の一環として、サイクロترون棟の運用を全面停止して検査効率の向上を目的とした陽電子待機室の増設と陽電子回復室の新設を行って安心してPET検査が受けられるように改修工事を行って来ましたが、ようやく本体工事の完成を見ました。今後、多くの機器の整備や安全性についてのチェック、関係機関による立ち入り検査を経て3月初旬から段階的に検査を開始し、4月1日には全面的に再開をするべき準備を進めています。今後も香川県内では唯一のサイクロترونを利用し作られた数多くのPET検査医薬品によって安全で安心な医療を目指してまいります。

看護職員募集

中途採用者随時募集

助産師・看護師免許を有し、夜勤が可能な方

お問い合わせ先 087-891-2320(看護管理室)

イベントカレンダー H25.2月～H3月 予定表

日時	時間	場所	名称及び内容	担当	連絡先
2/3 日	10:00～12:00 13:00～15:00	三豊総合病院	専門医による口腔がん検診	歯・顎・口腔外科	(087)891-2227
2/5 火	18:00～	臨床研究棟4F A会議室	第18回 最新医学研究会(膠原病)	内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科	(087)891-2145
2/13 水	14:00～16:00	病院地下カンファレンスルーム	平成24年度 第3回肝臓病教室	地域連携室	(087)891-2417
2/13 水	19:00～20:30	子どもと家族こころの診療部	発達障害学校・医療連絡協議会	子どもと家族こころの診療部	(087)891-2420
2/17 日	10:00～12:00 13:00～15:00	香川大学医学部附属病院	専門医による口腔がん検診	歯・顎・口腔外科	(087)891-2227
2/23 土	15:00～	サンポートホール高松 62会議室	第60回 香川脳神経外科談話会	脳神経外科	(087)891-2207
3/1～2 金・土	13:00～	サンポートホール高松	第40回 日本脾・脾島移植研究会	消化器外科	(087)891-2438
3/2 土	17:00～	アルファあなぶきホール	日本皮膚科学会第53回 香川地方会	皮膚科	(087)891-2162
3/4 月	18:00～19:00	管理棟4F 会議室1	緩和ケア学習会	腫瘍センター	(087)891-2054
3/5 火	18:00～	臨床研究棟4F A会議室	第19回 最新医学研究会(内分泌)	内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科	(087)891-2145
3/13 水	19:00～20:30	子どもと家族こころの診療部	発達障害学校・医療連絡協議会	子どもと家族こころの診療部	(087)891-2420
3/15 金	14:00～16:00	患者図書室オリーブの郷	がん患者サロン	腫瘍センター	(087)891-2363
3/18 月	17:30～18:30	臨床講義棟1階	NST勉強会	腫瘍センター	(087)891-2054

外来駐車場は患者さんのもの!!
駐車ルールを守りましょう!!

編集委員会: 石井(看護)、石川(外来)、岩瀬(病棟)、岡田(総務)
(50音順)
鬼村(患者サービス)、梶川(検査)、加藤(放射線)
白神(麻酔)、芳地(薬剤)、松本(看護)、安友(管理)
横井(情報) [委員長 千田病院長]